

2023年7月6日

(公社) 日本繁殖生物学会 会員各位

(公社) 日本繁殖生物学会
理事長 東村 博子

「WCRB2023」開催に伴う第1回前多記念若手奨励賞の選考について

公益社団法人日本繁殖生物学会 (SRD) 理事会において、WCRB2023 (2023年9月13-15日北京 (中国) にて開催) に開催地にて参加し、研究発表をする若手研究者を対象に、「第1回前多記念若手奨励賞」の選考を行うことが了承されました。つきましては、本表彰に応募される方は、下記の「前多記念若手奨励賞の趣旨・内容」および「応募にあたっての条件」を御理解いただいたうえで、第1回前多記念若手奨励賞応募書類に必要事項を記入の上 (記入例を参照下さい)、SRD事務局宛 (srdoffice@reproduction.jp) に、下記の期日までに e-mail に添付して送付してください。

応募書類送付締切日： 2023年7月31日 (月) 午後5時まで

前多記念若手奨励賞の趣旨・内容

- ・ 前多記念若手奨励賞は、主に学生および任期付き研究員などの若手研究者 (2023年4月1日現在で原則として35歳以下。出産・育児等のライフイベントで配慮が必要な場合はその旨を記載すること) を対象とし、国際学会において優れた研究発表をする者を表彰して、国際学会への参加をエンカレッジすることを目的としています。
- ・ 表彰状および副賞 (6万円) の授与は、原則として WCRB2023 終了後 (帰国後) となります。

応募にあたっての条件

- ① SRD 会員 (学生会員を除く) の推薦を受けた若手研究者を選考の対象とします (自薦は除く)。
- ② WCRB2023 において、現地にて応募者自ら口頭発表もしくはポスター発表を行う者に限ります。登録済みのアブストラクトを提出してください。
- ③ 所属機関もしくは公共のグラント (JSPS や NEDO など) から、旅費・宿泊費・参加登録費の全額が支給される場合は応募することができません。
- ④ 応募者は SRD 正会員、シルバー会員、名誉会員の推薦を得て応募書類に記入してください (学生の応募においては、指導教員の下承を得てください)。
- ⑤ 同一研究室から複数の申請を認めます。

選考方法

応募書類に基づき、第1回前多記念若手奨励賞選考委員会において審査のうえ受賞候補者を選考し、SRD 理事会において受賞者を決定します。

第1回前多記念若手奨励賞応募書類

氏名 (年齢) : _____ (_____ 歳) (2023年4月1日現在)

SRD 会員資格 : _____ 正会員 ・ 学生会員 [指導教員名: _____] ・ 非会員

所属機関・研究室名 : _____

職 (学生会員の場合は学年) : _____

所属機関住所および電話番号 : 〒 _____

TEL: _____

メールアドレス : _____

推薦者所属機関・職・氏名 : _____

(学会名) 発表形態 : _____ 口頭発表 ・ ポスター発表

発表題目 : _____

※演題登録したアブストラクトを提出してください。

他の渡航費支援等の有無 : _____ 有 ・ 無

(有の場合) 財源名・支給額 (概算) :

財源名 ① _____

② _____

③ _____

支給額合計 約 _____ 万円

出産・育児等のライフイベントによる配慮が必要 : _____ 該当有 ・ 該当無

(有の場合) ライフイベントの内容とその期間 : _____

記入例

第1回前多記念若手奨励賞応募書類

氏名（年齢）： 繁殖 花子 （24歳）（2023年4月1日現在）

SRD 会員資格： 正会員 ・ 学生会員 [指導教員名： 日本 太郎] ・ 非会員

所属機関・研究室名： 〇〇〇〇大学 農学部 繁殖生理学研究室

職（学生会員の場合は学年）： 博士課程2年

所属機関住所および電話番号： 〒 000-1111
〇〇県〇〇市〇〇*丁目**-*
TEL: 000-111-2222

メールアドレス： abcdefg@*****-u.ac.jp

推薦者所属機関・職・氏名： 〇〇〇〇大学・教授・日本 太郎

（学会名）発表形態： 口頭発表 ・ ポスター発表

発表題目： Changes in the expression of genes involved in segregation and function of inner cell mass and trophectoderm lineages in porcine embryos

※演題登録したアブストラクトを提出してください。

他の渡航費支援等の有無： 有 ・ 無

（有の場合）財源名・支給額（概算）：

財源名 ① 〇〇〇〇大学・学生発表支援経費

② 指導教員研究経費

③ _____

支給額合計 約 8 万円

出産・育児等のライフイベントによる配慮が必要： 該当有 ・ 該当無

（有の場合）ライフイベントの内容とその期間： 育児休業（〇〇年〇月～〇〇年〇月）